

Snipe Class
 International Racing Association
 2009 ~ 2012
 計測講習会資料

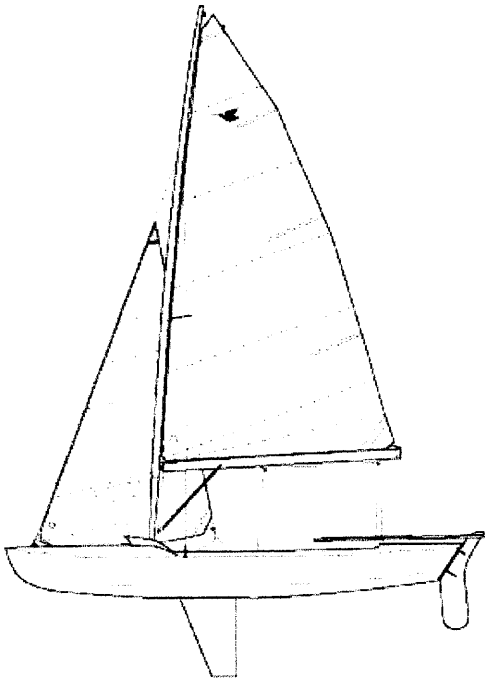
登録NO. _____
 造船所名 _____
 住所 _____
 所有者名 _____
 住所 _____
 計測日 年 月 日

 計測員氏名 水野 太一

日本スナイプ協会

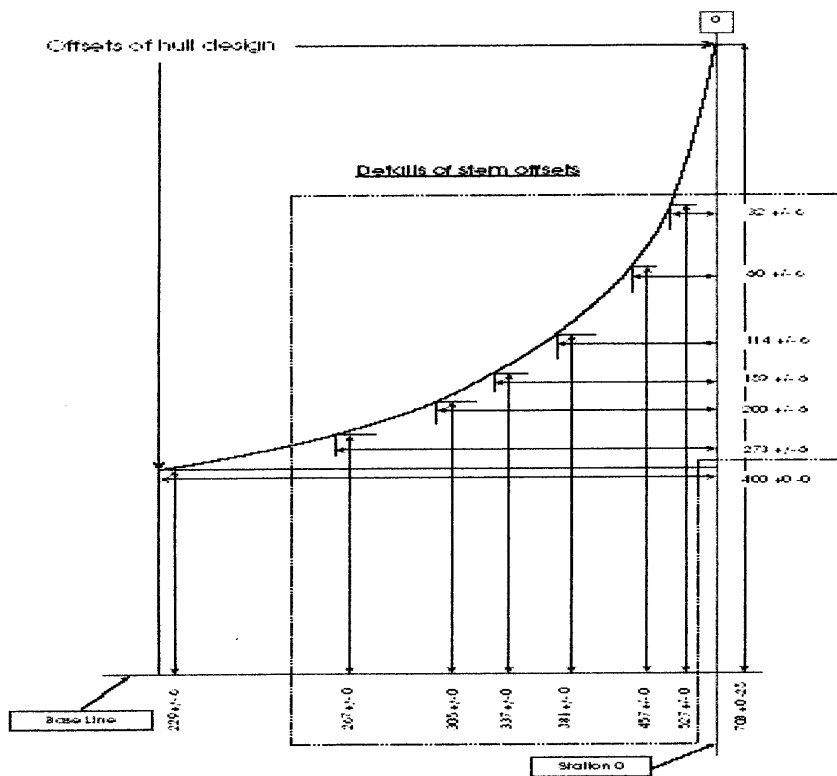
1. はじめに

公式計測員



- 計測員 公式に選出され任命されたフリート計測員、SCIRAに公認されたクラス計測員
* 計測員により推奨され署名されなければ証明書は有効とはならない
- 計測証明書 バラストの重量とその取り付け位置を示す艇体図 変えちゃいけないではなく
計測証明書に記されている所有者と相違がない事 海面によって変える時
- * 重量制限を満たしていない艇は、計測証明書が発行される前に恒久的にバラストを追加しておかねばならない
- 艇体NO トランクの見やすいところに彫り込むか、焼き付けるか、型押ししなければならない
番号の高さは、最小でも13mm(1/2") でなければならない
- 参加資格 レース参加資格を得るには、当該年度の公式デコールを取得し、
トランサムの前部のスターボードサイドにデコールを恒久的に取り付けねばならない。
デコールは、年会費が支払われた年度毎に、当該国のナショナル・セクレタリーにより発行される
* 艇は毎シーズンの初めに再計量されねばならない。
スカイラシール
- 艇体重量とは 重量に含むもの マスト プーム メインシート リギン ラダー ティラー センターボード
ウイスカポール1本 またはランチャーシステム チェーンプレート含む
シグシートは入らない
- 搭載備品 適切なパドルまたはオール 曳航用シート(6mm x 10m)以上 ハンドルの定義は無い(こげらこと)
ライフジャケット
- ベアハル重量 デッキ センターボードトランク フロアーボード 浮力体
ハルフィッティング装備 セール関係の艀装装備
- 重量不足の場合 15kg までの追加バラストは、慣性モーメントの条件を満たし、
ボルトまたはガラスクロスで見えるところに取り付けるならば、
どの位置にも恒久的に取り付けることができる
(慣性モーメントテストに関する計測データシート補遺参照)
- * アンカーについては、SCIRAルールには特に規定はないが、ローカルレース委員会が規定する場合がある
- * タイマー(時計)以外の電子計器を艇で使用してはならない。
- * SMCのセンターボードでアルミニウムのセンターボードとの重量の違いを補正するために
追加した重さについては、追加バラスト(15kg)の制限から除外される。

2. ステムライン



The intersection between the chine extension and the stem head shall be between 311 and 387 mm up from the base line.

ステーション 0		計測値
708mm	708mm (683mm~708mm)	

ステムライン

垂直方向	水平距離 ±6mm	計測値
527mm	32mm (26mm~38mm)	
457mm	60mm (54mm~66mm)	
381mm	114mm (108mm~120mm)	
337mm	159mm (153mm~165mm)	
305mm	200mm (194mm~206mm)	
267mm	273mm (267mm~279mm)	
ステーション0より 400mm後方の点での高さ	229mm (223mm~235mm)	

3. 計測ポイント(高さ)

Measurement Data Sheet I

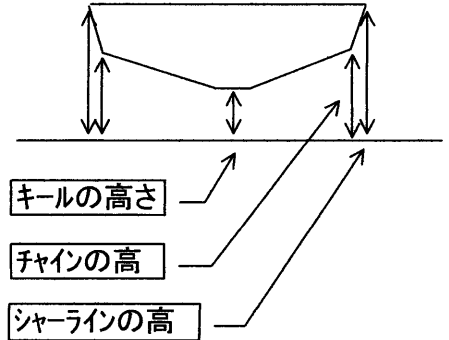
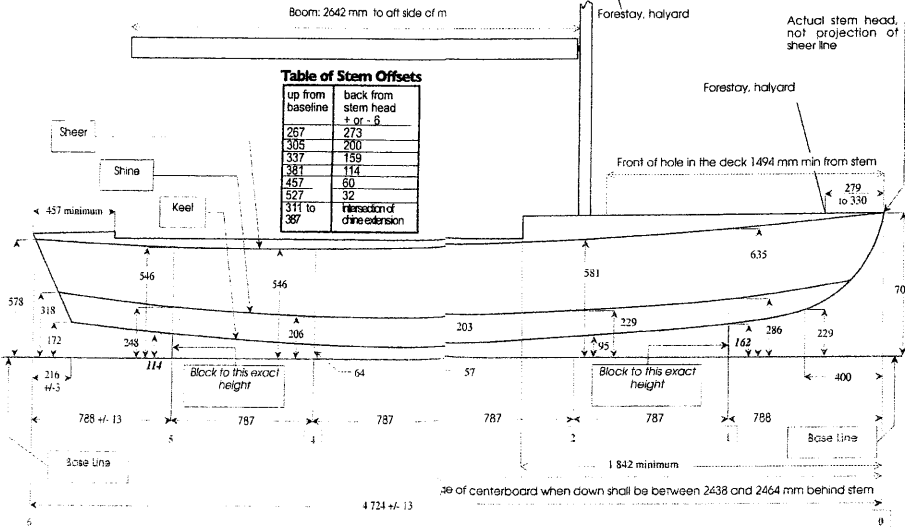
Revised January 2005

Designed by William F. Crosby, 1931

The following tolerances are allowed on the dimensions shown, unless a tolerance is shown on the drawing.

- Keel: +/- 6 on vertical measurements.
- Chine: +/- 3 on width, station 2 to stern.
- Sheer: +/- 3 on width.
- Sheer: +0 - 25 on height (including stem head).
- +/- 13 on width.
- Additional requirements: Refer to Rules

Measure stay intersection regardless of fittings.
Jib stay, Shrouds and Jib halyard intersect mast not less than 4470 mm no more 4572 mm above the sheer.
For boats built after January, 1st 2001, 4860 mm - 4962 mm above the butt of the mast.



高さ
キール

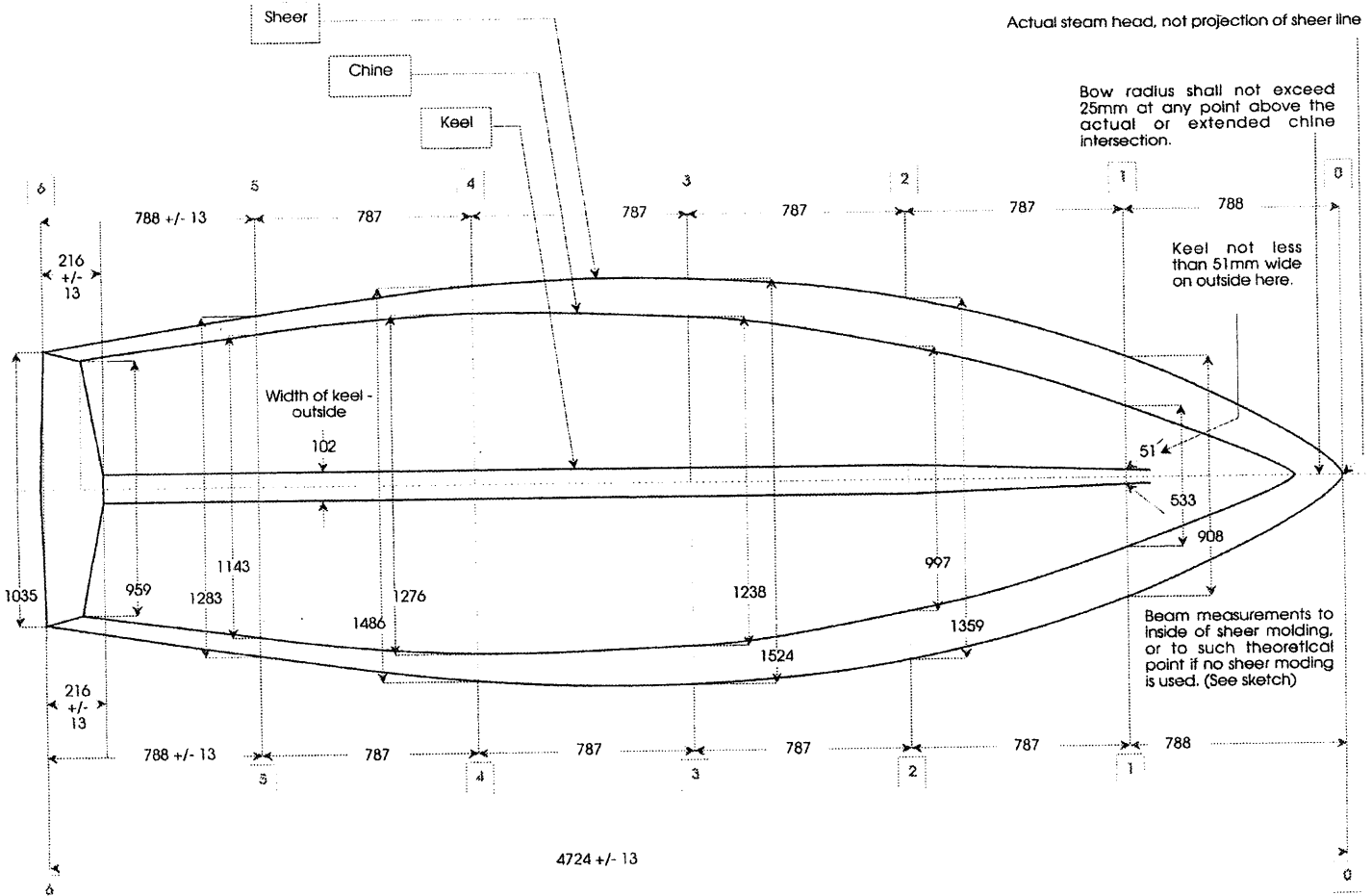
トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1	400mm
172 ± 6	基準台	64 ± 6	57 ± 6	95 ± 6	基準台	229 ± 6
166 ~ 178mm	114mm	58 ~ 70mm	51 ~ 63mm	89 ~ 101mm	162mm	223 ~ 235mm

チェーン(±6mm)	トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1
	318 ± 6	248 ± 6	206 ± 6	203 ± 6	229 ± 6	286 ± 6
	312 ~ 324mm	242 ~ 254mm	200 ~ 212mm	197 ~ 209mm	223 ~ 235mm	280 ~ 292mm
左						
右						
平均値						

シャーライン(+0 -25mm)

	トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1
	578	546	546	552	581	635
	553 ~ 578mm	521 ~ 546mm	521 ~ 546mm	527 ~ 552mm	556 ~ 581mm	610 ~ 635mm
左						
右						
平均値						

4. 計測ポイント(幅)



巾 キール(±3mm)	トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1
	102±6	102±6	102±6	102±6	102±3	51
	99~102	99~102	99~102	99~102	99~102	51
実測値						

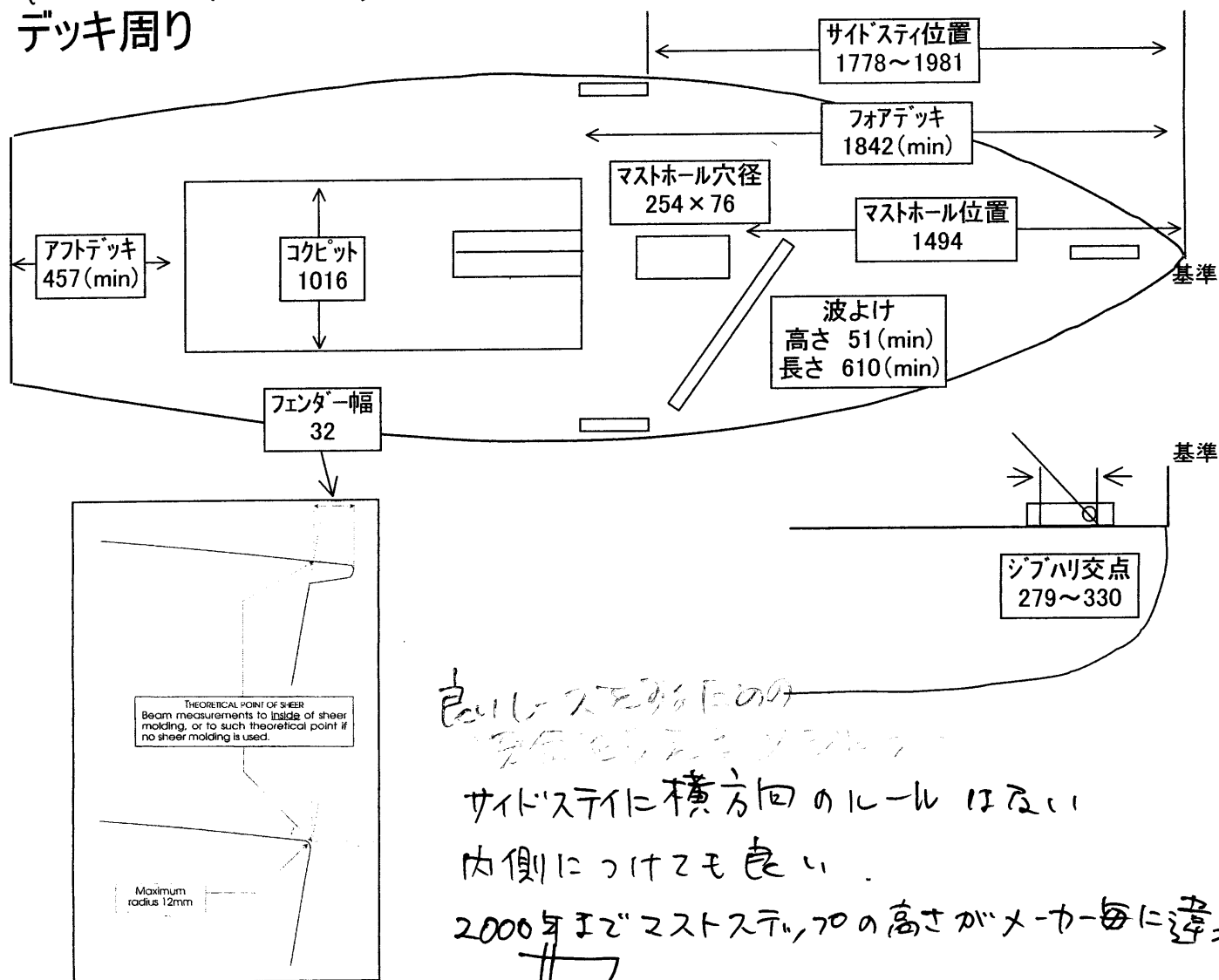
チャイン(±6mm)	トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1
	959±6	1143±6	1276±6	1238±6	997±6	533±6
	953~965	1137~1149	1270~1282	1232~1244	991~1003	527~539
左						
右						
平均値						

シャーライン(±13mm)	トランサム	ステーション 5	ステーション 4	ステーション 3	ステーション 2	ステーション 1
	1035±13	1283±13	1486±13	1524±13	1359±13	908±13
	1022~1048	1270~1296	1473~1499	1511~1537	1346~1372	895~921
左						
右						
平均値						

与えられた物を与えられたまま使, するだけ (学生)

日本の船以外は長さが合, てなくと走れない

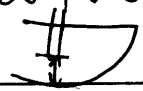
5. デッキ周り



良いレスポンスのための

サイドステイに横方向のルールは無い
内側につけても良い

2000年までマストステイ, 70の高さがメーカー毎に違, った



デッキの厚み	合板 ... 6mm (min) エクステリアグレードを使用してもよい。 ファイバーグラス ... 1.5mm (min) ファイバーグラスとファームあるいはハニカム ... 外層1.5mm (min)
デッキの長さ	フォアデッキ ... ステムヘッドより1842mm (min)まで前面デッキとする アフトデッキ ... トランサムからコクピットの長さ 457mm (min)
波よけ	高さ ... デッキより垂直に測って 51mm (min) 長さ ... センターの両サイドで 610mm (min)
デッキクラウン	127mm (max)
フェンダーの幅	シャーラインの高さで水平に計測し 32mm (max)
マストホール	ホールの前縁はステムヘッドより 1494mm (max) 前後幅 254mm (max) 横幅 76mm (max)
サイドステイ位置	ステム後方1778から1981mmの間 シャーラインより内側に102mm (max)
ジブハリヤード	ステムヘッドからハリヤードの交点が279mmから405mm
コクピットの幅	シャーから51mm下がった交点の水平面で1016mm (max)

ジブハリとフォアステイを同じセンにつけるとクラスルール違反

ジブハリとフォアステイをつけた状態でマストがマストホール前縁に当たるとOUT

6. 材料

側板、トランサム、センターボードトランクの側板、および船底の厚さ

FRP

ファイバーグラス	3mm (min)
ファイバーグラスと発泡体のサンドイッチ構造	外層 3mm (min)
またはファイバーグラスとハニカムサンドイッチ構造	内層 1.5mm (min)

材質 : ポリエステルまたはエポキシ樹脂のファイバーグラス繊維、ロービングクロスまたはマットを使用してもよい。
ガラス含有量は最低でも重量の30%を占めなければならない。

浮力体: 0.184m³(6 1/2 ft³)の発泡スチロール、発泡ウレタン
或いは最大40kg/m³(2 1/2 Kg/ft³)の密度のものをハルの中に組み込まなければならない。
含浸樹脂ファイバーグラス繊維で覆われたバルサ材及び発泡体はこれに相当する。
内部が密閉されているものは適切とは見なさない。

キール、チェーン、ステム、マストステップ、ステイアンカーやラダーガジオン取り付け部のような補強されている箇所を除き、ハルの厚さは均一でなければならない。
木材や合板を部分的な補強に使用してもよい。

木材

512kg/m ³ (0.0185 lbs./in ³) 密度以上の場合	13mm (min)
512kg/m ³ (0.0185 lbs./in ³) 密度以下の場合	19mm (min)

合板

合板	10mm (min)
合板とファイバーグラス	10mm (min)とファイバーグラス

船底と側板: 使用される合板の重量は最低5.65kg /m²(18 1/2 lb./ft²)なければならない。

全てが10mm(3/8")の材質である場合は、艇が最低重量に達するように
ファイバーグラス或いは他の覆う材質を使用してもよい、

浮力体 : 0.085 m³(3ft³)の発泡体を艇に取り付けなければならない。

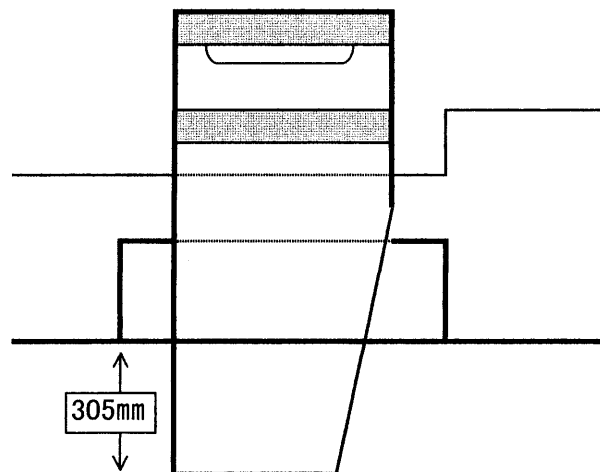
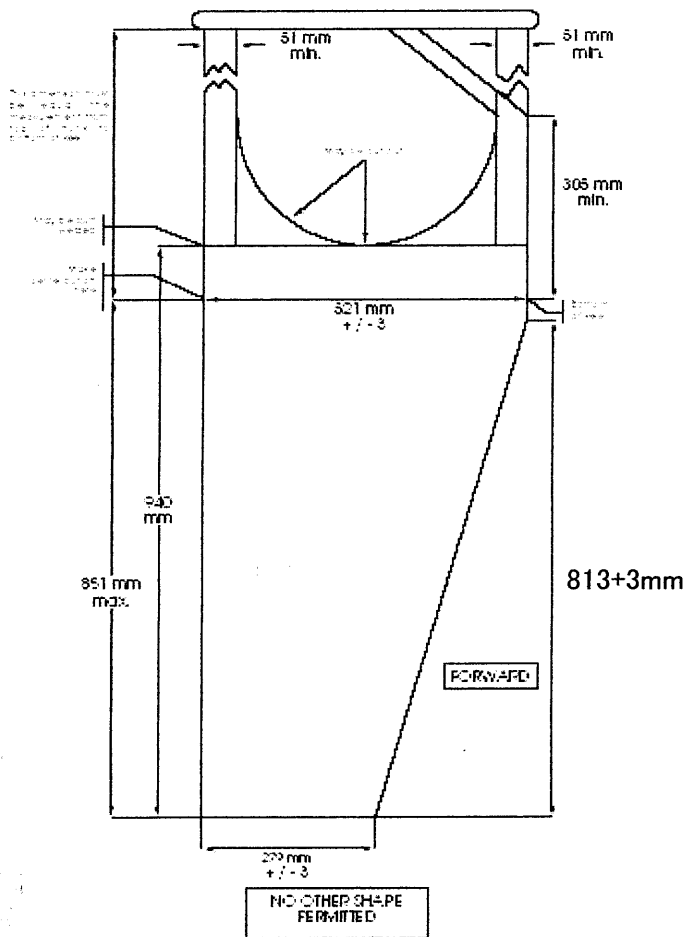
ステーション1のチェーンの最大半径は19mm(3/4")で、
テーパしてステーション2で3mm(1/8")になり、それより後方も3mm(1/8")である。

ステーション1より後方のいかなる横断面においても、調べた部分の長さ305mm
(1フィート)毎に最大3mm(1/8")を平面性の欠損とする。
(すなわち、長さ305mm=欠損3mm、長さ456mm=欠損4.5mm、長さ610mm=欠損6mmである)

艇が転覆し、浸水するくらいの高波に長時間放置され起こされた時、艇が136kg(300lb)を支えた状態で、
水が入ってくるコックピットの縁の最も低い点が最低でも海面より152mm(6")上になるように浮いていなければならない
タンク、フローテーションバック、セルフベ어링コックピットを用いたり
浮力体の材料の密度を低めたりすることによって、このようにできる。
排水を容易にするために、最高645.cm²(100in.²)までの穴をトランサムに空けてもよい。
この規定の条件を満たすトランサムは、合計面積が最小でも290.3cm²(45in.²)なければならない。

2001年1月1日前に建造された艇については、艇が転覆し起こされた時、
トランクから水を排水できるくらいの十分な高さで浮いているなら、センターボードトランクの高さが
キールの外面より上に最小9"(229mm)あれば、この規定の条件を満たしているとする。
そうでない場合は、艇が転覆し起こされた時、海面より51mm(2")上にトランクがなければならないとする。

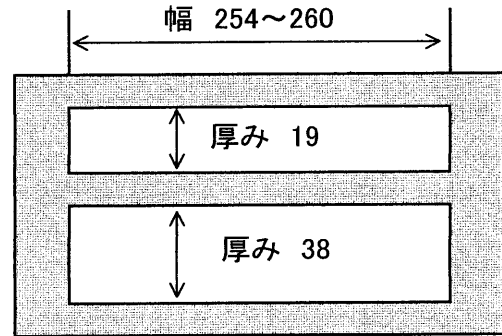
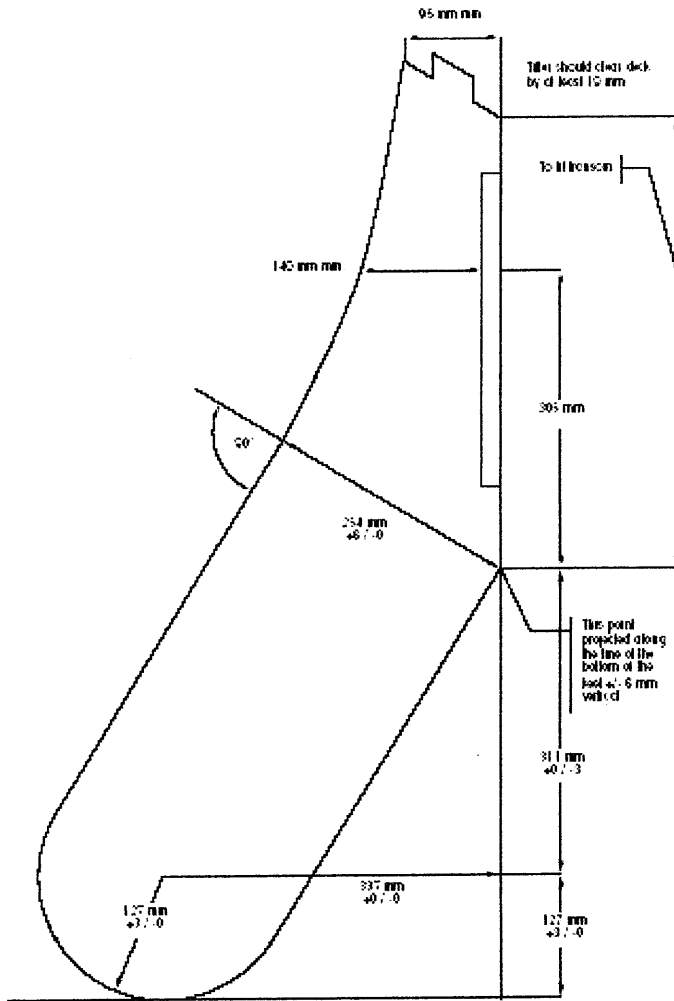
7. センターボード



- ・沈した時にキールより305mm出ていること
- ・潜らなくてもシステム解除でき
- センターを引き上げる事ができるようにする事

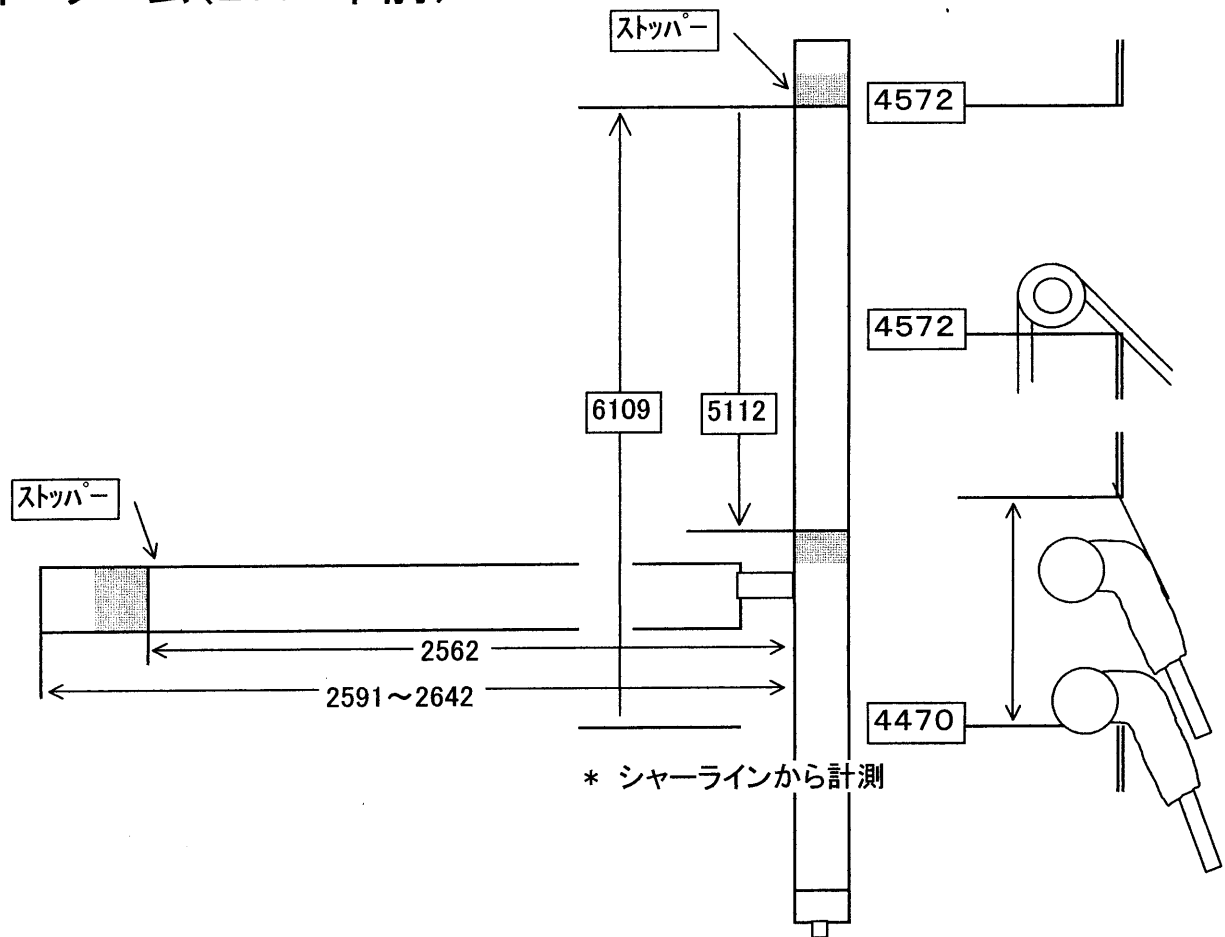
センターボード トランク	スロットの長さ	546mm (MAX)
	スロットの幅	ファイバーグラス 13mm (MAX)
		木材、合板 14mm (MAX)
深さ	ハルの外側からトランクの上部まで 310~313mm	
センターボード	硬質アルミニウム合金 (6061T またはそれと同質のもの) 詳細は上部図面参照 縁を除いて厚さは均一でなければならない。 10mm * 挿入物及び重量の分布を変えるようないかなる方法も認めない。 センターボードは軽くするために切り抜いてもよい (図面参照)。 * トランクの上部で最大6mm (1/4") まで前方に傾斜してもよい。	
テーパー	25mm (MAX) 低部のコーナーの最大半径 13mm (MAX)	
最大の引上げ	バンドの上縁がデッキの表面と同じ高さでなければならない。 センターボードの先が305mmより短くならないようにしなければならない。 ボードの両側に25mmのバンドをペイントしなければならない。	
降ろした時	後縁はベースラインに対し垂直でなければならない。 上部はベースラインと平行でなければならない。 センターボードのハンドルは、センターボードの後縁がベースラインに垂直 センターボード側後縁に低部から851mmの位置にセンターポンチ * トランクの上部にのみ使用が認められる。どのような種類のシールでもよい。	
安全面	セーフティラインをつけなければならない。(調整不可) 適当な寸法のシャックルかスナップ取付け 結び目を解けないような処置 セーフティライン解除システム * クルーが艇の下に潜らなくてもボードを完全に引き出せるなら どのような保持システムを使用してもよい。	

8. ラダー



材質	木材 木材とファイバーグラス ファイバーグラス ファイバーグラスと発泡体 * 金属製のラダーブレードは禁止する。
厚み	19mm (min) 38mm (MAX)
吃水線下の幅	260mm (MAX) 254mm (min)
重量	2.72kg (min) ピントルを含む * 450g (1lb.)以下の追加バラストは、ラダーに恒久的に付けることが認められる。
取付け位置	ラダーは常にトランサムに平行に取り付けなければならない。 ラダーとトランサムの間隔は 38mm (MAX)
ストッパー 穴径	抜け落ちることがないように、然るべき方法が採られていなければならない。 ガジョンとピントルは 直径8mm
ガジョン位置	上方のガジョンは、トランサムとキールの交点の上方410mm 下方のガジョンは、トランサムとキールの交点の上方155mm
隙間	ティラーとデッキの間隔 19mm (min)
その他	ティラーは丈夫でなければならない。 前後にスライドしてはならない 長くして人為的に艇を長くしてはならない ラダーヘッドにしっかりと取り付けなければならない。 ティラーは、デッキ後方で直接きっちりと結合されていなければならない。

9. マスト ブーム(2000年前)



断面	トップ横断面	32mm (min)
	マストの横断面	54mm より少なければスプレッターを用いなければならない。
マスト中心線	ステムの後方1524mmと1626mmの間になければならない。 * 計測のためには、マストを垂直にした状態でマストの前部がステムから1494mmと1600mm	
フロア面	船底の浮力タンクの上方51mmを超える高い位置にあってはいけない。	
交点	シアーの上方4470mmと4572mmの間でなければならない。	
バンド	25mm の幅で全周にペイントしなければならない	
バンド位置	トップバンドの下端はシアーの上方6109mm を超えてはならない。 下部バンドの上端は、上部バンドの下端の下方最大でも5112mm とする。	
重量	重量は最小9.1kg (20lb) とする * 必要なフィッティングと補強以外はいかなるものもこの基本的マストに付加してはならない。	
重心位置	下部バンドの上方最小1524mmとする。 * マストがこの条件を満たすなら、ブレードや他の補強が加えられても合法であるとする。	

ジブステイ	全て金属製で、最大直径が2.4mm(3/32) のワイヤーやロッド マストがパートナーの後部に触れることがないようにしなければならない。
-------	---

ブーム長さ	マストの後面から測って最大2642mm とする。
ブーム深さ	最大102mm でなければならない。
材質	アルミニウムのブームは6063T6 合金またはそれと同質
バンド位置	前縁がマストの後方2562mm * メインセールのフットの伸びはネジまたは他の留め具を用いて制限されねばならない。

ウイスカポール	ウイスカポールの全長は最長2642mmまでとする。 * マストフィッティングは、マストの前面より前に飛び出してはならない。
---------	--